

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
菅原主査	(商工業) ・検討シートに基づき説明
佐藤部会長	美幌町で新規で起業される方というのは、どのくらいいるのか。
菅原主査	それほどいない。起業支援の実績は1件。希望される方はいるのかも知れないが、ハードルが高いため中々いない。
佐藤部会長	夜の町を歩くと、居酒屋など新たな飲食店が開店しているように見えるが、それらは町の援助を受けていないのか。
菅原主査	家賃の補助は実施している。
佐藤部会長	自身が町に出ても飲食店にしか行かないので、飲食店以外のお店の開店状況を解っていない。農機具販売店などは、個人で行っているのを少し見かけてはいる。 以前、商店経営者と話をしたときに、年に1,500万円の売り上げがないと、生活レベルが苦しいと聞いたことがある。
菅原主査	起業支援のメニューを作っていても、想定しているのは飲食業になってしまう。一般の新規商店では利益を出すのは難しいと考えている。
佐藤部会長	大型店舗とコンビニがあれば、用が足りてしまう。
城委員	美幌町で内需を拡大するのは難しい。衣料や住宅建築も町外に求めており、食も大型スーパーで買うので、町内にお金が落ちる仕組みになっていない。そういった中、起業を進める施策を講じても難しいのではないか。
阿閉委員	町内の商店を集めて、ショッピングモールをつくってはどうか。それでも厳しいかも知れないが。
菅原主査	今般の地方創生に係る消費拡大事業は、町内のみで使用できる商品券。こういう機会に、町内にはこういうお店もあるんだ、という発見をしていただくことも期待している。
林委員	商工業施策の目的、目指す場所はなんだろうか。商店街を元気にすることなのか。
菅原主査	既存の商店街を元気にすることがメイン。
林委員	商店街を元気にすることは、全国的な問題でもあるが、やはり難しい課題。旭川市の買い物公園ですらも、今では苦戦している。日本の社会構造が変わってきており、以前は駅を中心に商店街が栄えていたが、今の日本は、特に北海道は車社会なので、大きな駐車場があるところに買い物に行く。商店街には不向きな状態。先ほどもお話しがあったように商店街を集めてショッピングモールをつくる等、大規模なテコ入れが必要だと思う。スーパーの良いところは、1店で全てが揃うところ。消費者は、そういう買い物スタイルになっている。他にも、例えば、役場の周りに商店街を整

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>(引き続き) 林委員</p> <p>阿閉委員</p> <p>広島部長</p>	<p>備して、役場に行くついでに買い物をしてもらいたいとか。あとは、動線の問題もある。商店街はどうしても狭いところというイメージがある。</p> <p>消費者の目線で言えば、安くて良いものが置いてある店に行きたい。行くのが少々不便でも、そういう店であれば行く。現在行政では研修助成を行っているが、こういう事例を伝えるなどの指導のような事はできないか。</p> <p>スマッピーカードは面白いと思う。ポイントカードとしてのみじゃなく、チャージして買い物出来るのが良い。スマッピーカードで買い物をするときに、買いに行ったものとは別の商品を見るので購買意欲も高まる。</p> <p>スーパーマーケットのポイント制の様に、毎週日曜日はスマッピーポイントが10倍になる、などしてみてもどうか。</p> <p>美幌町では平成16年に「中心市街地活性化計画」を策定しており、その中で、テナントミックス構想についても掲載されている。しかしながら、美幌町は新町から旭通りまで、長く商店街が続いており、長いが故に商店街も4つに分かれている。この長い商店街を一つにまとめて駐車場も整備しようとなると、非常に難しい。また、小売店を一つにまとめても価格が下がる訳でも、品揃えが変わるわけでもない。</p> <p>そこで、町から会議所を通じてお願いしていることは、地元に着したサービスを行うこと。価格では大型量販店と勝負できない。高齢化が進んでいるので、御用聞きを行うなどし、お客を迎え入れる大型量販店との差別化を図る。現在会議所では宅配便利サービスを実施しているが、こちらでも大手スーパーマーケットの宅配と競合するところがあるので大変厳しい。これに何を付加できるか、違う価値観を付加できるか、個店も含め知恵と工夫が必要。もう一つは、地元の商店街で買い物をすることへの理解を高めること。地元で商店街があることの意義を考えてもらわないといけない。町が活性化するための一つとして、人が1箇所集いそこから広がっていく、その為の動線を確保する、ということもあるが、それが叶わない場合、その1箇所というエリアを広く捉えるという発想。冬まつりも、来年度からは中心市街地での開催を検討している。前夜祭も開催して、エリアに人を集めることを進めている。町外の大型商店、町内の大型商店と町内の個店を並列で考えるのは無理がある。</p> <p>商店街が無くなれば、最終的に高齢者が困ることにもなる。若いときには車に乗って買い物に出かけられるが、高齢者になればワンコインバスの利用による買い物や宅配による購入になる。しかし、宅配だけでは全てが揃う訳ではない。高齢者層は、多少値が高くても購入する傾向もあるので、その層の市場開拓も出来る。地元で商店があつて良かったと思つて頂けるような取り組みが大事だと考えている。</p> <p>商店街に足を運んで頂けていない現状の中、新年度予算では店舗リフォーム補助を実施する。予算額30,000千円という大規模な事業。上限は100万円で、近隣と比べ高い補助額となる。これは、入りやすい店を目指すことで足を運んでもらおうとするための試み。来て頂ければ買い物をする機会も出来る。町民の方も、個店経営の方も意識改革が進めば良いと考えている。</p> <p>農業にも通じることだが、商店街も担い手不足の問題がある。シャッターを閉めているお店も、生業としての問題だけではなく後継者不在の問題がある。商店の後継者育成についても考えていきたい。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
林委員	宅配サービスは良い事業だと思う。そこで何か出来ることもあろうかと思う。
阿閉委員	品揃えの問題があると聞いている。美幌町が一つになって行わないといけない。
林委員	複数店で共同購入などすれば、少し価格を抑えられるのではないか。
信太委員	<p>宅配サービスは、現在180人が会員登録をしており、1日に30件程度の利用がある。職員が専用トラックで運搬している。この時期は、足下が悪いので高齢者利用が多い。高齢者宅に配達すると、「お茶でも飲んでいきなさい。」ということになり、30分くらいお話しをしてくることもある。話すことによって、ストレスを発散できているようだ。宅配サービスにしか出来ないことだと思う。香典を1件200円で斎場に届ける事業もやっており、それもニーズが高い。これは、大手スーパーマーケットには出来ない事業で、差別化が図れると思う。また、大手は週1回だが、宅配サービスは毎日利用出来る。利用者にはかなり評判が良い。コミュニティの形成など、福祉の面でも貢献している。しかし、手数料が安いことや、人手が少ないことなどの課題が山積している。客単価は幅広い。1回で3千円買う人から3万円買う人がいる。30人でも幅広いので、もっと裾野は広いのではないかと考えている。</p> <p>美幌町には、美幌町より人口規模が小さい町村からも沢山買い物に来ている。美幌町民は北見市や網走市に流れていて、北見市民は旭川市に、旭川市民は札幌市に、それぞれ大きな都市に流れており、これは流れなのである程度は仕方ないのではないかとと思う。特に若い人は安く品揃えが多いところへ行きたい。高齢者や町外者などの購買層はある。</p>
佐藤部会長	宅配便利サービスは、広報等で宣伝しているのか。
信太局長	広報で宣伝しているが。
林委員	広報を隅々まで見ている人は少ない。
阿閉委員	広報を見ても気がつかなかった。
城委員	宅配便利サービスはどこが運営しているのか。
菅原主査	合同会社を設立している。運営の中心は商工会議所。
城委員	商工業の観点よりも、福祉の観点の方が強いのではないか。
菅原主査	元々は高齢者の買い物難民対策ということでスタートしたが、経済活動の観点もあるので商工の方へ来た経過がある。
林委員	双方で行うと良いのでは。
城委員	町が補助金を支出しなくなった場合、合同会社の収支で生業として成立するのか。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
林委員	<p>人件費があるので、自立は難しいのではないかと。会員数が増えると更に大変であろう。運営規模も考えていかないといけないのではないかと。</p> <p>逆に、出向くのではなくて、高齢者を集めるのはどうだろうか。高齢者はお話しをしたいという欲求もある。商店街のところに無料スペースでお茶が飲めるようにして、ゆっくり買い物ができるようにしてはどうか。バスで高齢者宅に迎えに行くようにすれば、運転手の人件費で出来る。商店街振興のきっかけとしては良いと思う。</p>
広島部長	<p>御用聞きスタイルは、本来は宅配便利サービスで行うのではなく、個店で行うべきだと思う。今、話をしているのは、宅配した際に例えば「カーテンが欲しいのだけど買いに行けない。」という話があったら、カーテンを取り扱うお店に“繋ぐ”ということ。それには、スマッピー加盟店舗のみならず、美幌町の商店が一体となって取り組みという仕組みを作っていくと出来ないといけない。それが出来るかどうかを会議所に打診している。</p> <p>町は宅配便利サービスに3年間補助することとしており、平成27年度で2年目になる。その間に、仕組みづくりや町民への浸透ができるかどうか。現在はまだ、個店の方達が外に向かって積極的にアピールしているようにも出向いているにも見えない。昔はそれでも良かったのだろうが、社会構造が変化しているので、生き残りを図るための一つとして取り組んでいただきたいと考えている。</p> <p>トータルとしての仕組み作りとして、起業支援についても積極的に行っていく。支援を200万円としたのも、若い人達に期待するもの。初期投資がネックになっている方達への緩和策として支援する。更には、ランニングでは家賃補助制度も用意している。新しい血、特に若い血が入らないと活性化しない。チャレンジ精神のある方はどんどん美幌町に来ていただきたい。</p>
城委員	<p>株式会社の300万円ルールが撤廃された今では、200万円の支援というのはかなり手厚い支援だと思う。</p>
林委員	<p>何件程度の想定か。</p>
広島部長	<p>上程中でまだ予算化はされていない。</p>
阿閉委員	<p>年齢制限を設ける予定はあるか。</p>
広島部長	<p>この時勢の中で業を興そうという方は相当意欲のある方だと思う。求めているのは意欲。よって年齢制限は設けていない。</p>
城委員	<p>例えば都会の商社マンが定年退職後に移住して起業したい、というのも対象か。</p>
広島部長	<p>対象となる。が、夜間営業のお店については対象外としている。</p>
佐藤部会長	<p>工業について、何か意見はないか。</p>
広島部長	<p>企業誘致は難しいと思っている。美幌町の工業用地は畑なので、造成が必要となり、その時点で不利となっている。現在町内の工業は食品加工が</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>(引き続き) 広島部長</p>	<p>多いが、それらは地元根付いた、資源を活用した事業。美幌町にはこれだけ多くの農家と農地がある。そこに農機具の会社が根付く。最終的には、地元根付いたような企業が残ると思う。</p> <p>地元根付いた企業を誘致しようとするのなら、まずは工業用地の整備が必要。交通の要衝という利便性や全国的に比しても災害が少ないという利点もあるが、町が多額の投資による造成をして、実際に誘致が出来るまで待つことが出来るかを考えると、非常に厳しい。</p> <p>今ある工業を、しっかりと守りぬいていくことが、今一番大事だと考えている。</p> <p>企業誘致による雇用創出というのは大変厳しい。</p> <p>誘致の際、価値観やメリットを打ち出していくのが難しい。例えば、資源としての農産物を扱う企業など、ターゲットを絞って誘致活動をしていくことも一つの方法だと考えている。</p>
<p>佐藤部会長</p>	<p>確かに、美幌町には農機具店が多い。またそれらを運ぶ運送業も多い。</p>
<p>広島部長</p>	<p>農業に関連する産業を全て集めると、相当な規模になる。農業が基幹産業の町なので、そこに特化することがいいと思う。</p>
<p>林委員</p>	<p>農業に特化することで、商業も含め発展していけば良い。それが強みを活かすということになる。</p>
<p>佐藤部会長</p>	<p>運送業の大きなトラックに乗っている方は、駐車場の大きなコンビニに入りたがる。駐車場が大きいということも、魅力の一つになっているのかもしれない。</p>
<p>広島部長</p>	<p>J R 貨物がいつまで残ってくれるのかも問題。網走～札幌は非常に厳しい経営。旅客と貨物は別会社で、貨物が旅客に鉄道使用料を支払っている。貨物は、網走方面から運ぶ荷物は多くても、反対に網走方面に来る荷物が少ないので、不効率となり経営を圧迫している。トラック便に切り替えたくても、最近ではドライバーが東北に多く行っているので集まらない。</p>
<p>菅原主査</p>	<p>(中心市街地) ・ 検討シートに基づき説明</p>
<p>小室主幹</p>	<p>・ 城委員の質疑について資料を用いて説明</p>
<p>城委員</p>	<p>6 6 1 企業中、中心市街地の企業は何割くらいを占めるのか。</p>
<p>小室主幹</p>	<p>7 割くらいだとかとは思いますが、正式に調べて次回会議で回答したい。</p>
<p>城委員</p>	<p>中心市街地にいる方達は、将来どのようになっていたいのか。例えば、自分の代で終わりでも良いと思っていたりはしないのか。業種によって温度差はないか。</p>
<p>小室主幹</p>	<p>基本的には、何とかしたいと思っている人の方が多い。後継者の問題や色々な課題はあるものの、自分の代で終わらせない様にしたいという気持ちがある。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
林委員	例えば、先ほどの宅配サービスの話にあったように、個店も積極的に営業活動してほしいというような取り組みなど、活性化を図る新たな取り組みなどに積極的に参加するような意欲はあるのか。
小室主幹	商工に係る各種会議に出てくる方達は意欲的であることは間違いない。
城委員	声の大きい数人の意見になってはいないか。総意なのか。
小室主幹	会議に出てくる方達は、それぞれ商店街の会議の中で議論し、その代表として会議に参加しているので、行政としては総意として受け止めている。
菅原主査	<p>店舗リフォームについてのアンケートを実施した際にも、リフォームに前向きな回答が多かったので、自分の代で店を閉じようとする方は少ないと考えている。</p> <p>また、宅配便利サービスでは、緑の苑への訪問販売を実施しており、品揃えを見て買い物が出来ることから大変好評なのだが、そこにも多くの意欲ある店舗が商品を用意している。</p>
林委員	ちょっとした場所を用意して、そこに商店街の方が出店できるようにして、お年寄りを集めるというのも良い。
広島部長	昔は、大型のスーパーが町内に点在しており、そこを核としながら、足りないものを近くの商店街が補う形になっていたが、今は違う。第6期美幌町総合計画の終了年は11年後なので、そこを見据えたときに、広いエリアを全て中心市街地としていくのか議論しなければならない。まちづくり白書には、ポケットパーク建設の意見などもあるが、それを大通北に設置したときに、新町の商店街はどう考えるのか、ということにもなる。各商店街が単独で構想をもって進んでいけるのなら良いかも知れないが、行政が補助をしていく中で全てを中心市街地として活性化させるのは大変難しい。
城委員	商店街ごとに色があるので、全てを一色にするのは難しい。
広島部長	各商店街には意欲のある方がいる。大括りの中ではなくて、ポイントで支援できるかが課題。
城委員	極論だが、固定資産価格を揃えて、商店街を寄せたら良いのではないかと。
佐藤部会長	今営業をされている方達は、近くの皆さんに愛されて“生き残った”のだと思うので、移動されると、利用者であるお客が離れてしまうのではないかと。
城委員	しかし、シャッターが多く閉まっている状態では寂しい。
阿閉委員	商店の方達がどのように活性化したいのか。アンケートなどは実施しないのか。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室主幹	以前あった「TMO構想」が現状では頓挫しており、その更新作業のため商店へのアンケート調査を考えている。
城委員	高齢者にターゲットを絞ってはどうか。
林委員	それも一つの方法だと思う。
広島部長	地域によって人口分布も異なる中、投資の仕方も考えなければならない。結果的に大きな空洞化になってしまった、では済まない。
阿閉委員	活性化対策は大々的に行わないといけないのではないか。先ほども話があったが、大きな駐車場を整備するなど。
佐藤部会長	交通の要衝であるので、大きな駐車場整備が大事だと思う。空いている土地に飲食店が並んでいて駐車場が大きいと、運送業の方が利用するのではないか。
城委員	学生は大型書店とコンビニで満足しているので、商店街に行くことは期待できない。若い人は車があるので町外に出てしまう。そうすると、高齢者をターゲットにした宅配便利サービス等がメインになるのではないか。
広島部長	商店街に空き地をつくり、そこをどう有効活用していくか。それぞれの商店街で考えてみて欲しい。それには、テナントミックスにして大型駐車場を整備してテーマパーク形式にして、といったような内容の整備費よりはかからない。
林委員	4つの商店街には、統合の意思はないのか。
小室主幹	それぞれに愛着を持っているので、現状ではその意思はない。
佐藤部会長	夏になるとそれぞれの商店街でお祭りを行っているが、どれも賑わっている。自分は遠いので中々行けないが、近所の人が行っているのだと思う。
阿閉委員	それも駐車場の問題がある。
城委員	冬まつりの会場を大通りに移した際、駐車場はどうするのか。
広島部長	知恵と工夫で何とかできる。
白石委員	ワンコインバスを循環してはどうか。
信太委員	北海道の人はバスに乗る習慣がない。
白石委員	発想の転換をしていかないといけない。
阿閉委員	車だと好きな時間にいけるので便利。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
佐藤部会長	都会では駐車料金がかかるので、車利用が少ないのでは。
林委員	町外から来た者の意見として、地場産品をしっかりと扱っているお店が嬉しい。ぼっぼ屋は良い。
佐藤部会長	大型スーパーでは美幌の野菜が買えない。中心市街地の飲食店で美幌産の食材を使用できないだろうか。
林委員	例えば、「美幌のアスパラ定食」といったメニューがあると嬉しい。
城委員	特産品の開発販売はとても難しい事業。
信太委員	<p>新町の商店街では、今年度町の補助金で東京農大に委託し、若者や町外者から視点による調査を行った。新町の商店街には様々な業種のお店があるが、魅力に乏しいという結果が出た。また、店員の愛想が悪い、更には、少しだけ食べるお店がない、コミュニティがない、という意見もあった。それを受けて、新町の商店街では課題も見えたものの、現時点で経営に困っていない状況なので、リスクを冒して地域のために変える、ということに躊躇してしまう。理想としてはもっていても、1歩が踏み出せない。月1回両面チラシを配付しており、それはスタンプラリー形式になっていて、温泉旅行が景品になっている。毎月同じ方が応募してくる状況にあったが、通常新町と鳥里に2,000枚配付しているところを4,000枚印刷し、他地域にも配付したところ、応募が凄く増えた。これはマーケティングの結果で、成果も出たことから商店街の皆さんも手応えを感じたところ。</p> <p>中高年の経営者は自分の代で辞めたい、辞めようと思っている人も多い。強いリーダーシップで引っ張るような活性化対策を行わないといけない。</p>
佐藤部会長	確かに、都会のお店の接客態度は凄く良い。
城委員	都会の人は、お客の顔を知らないのが前提だが、田舎のお店では、初見だと「見かけないな。」と思って表情にも出てしまう。
広島部長	お店のイメージは、店員の第一印象で決まってしまう。
阿閉委員	有名ファストフード店が美幌町に出来れば、接客に影響を受けないだろうか。
太田委員	<p>自分の会社でスマッピーカードのHPをデザインした。情報発信という点で、商店街のチラシがほとんど入っていない。町の助成で、各店舗が一斉にチラシを配付することで活性化できないだろうか。</p> <p>また、町内企業が町内企業を下請けなどで積極使うなど、町内で循環することで活性化できないだろうか。</p>
佐藤部会長	ちなみに、森林組合では総会議案の印刷などはどの業者で行っているのか。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
阿閉委員	町内業者に発注している。
城委員	インターネットが発達してきて、町外業者とのやりとりが容易になってきており、価格面でも安価なので、それが弊害になっているのかも知れない。
阿閉委員	住宅建築だと、デザインや技術の差もある。
広島部長	全ては難しくても、極力地元企業と仕事をして頂きたい。町内企業も広告や情報発信にお金をかけていない。
太田委員	商店街が4つあって、一つにはならないということだが、大通りの1本外れた道路を全てアーケードにして、テナント形式にして土日にそこでお店を開くなどはできないだろうか。
広島部長	協力体制が取れるかどうかということ。現在も営業している個店には、基本的に無理のない範囲で営業していきたいと思っている方もいる。実際に構想を作って、具体的に議論しましょう、の段になると、1店舗が抜け2店舗が抜け、という事態になりまとまらない。
林委員	本来は、立ちゆかないから、または、今のままでは困難だから、今後どうしていきたいという話になるはず。
広島部長	ただし、若い人も含め気持ちのある方も多い。そういう方達だけでもやれるかどうか考えてみなければならない。
阿閉委員	店主が高齢で年収が低くても年金等もあり困らないといった状況では、その子どもが後を継ぎたくない。
広島部長	子ども達が見ている、楽しい職場に見えるかどうか大事だと思う。
太田委員	既存で事業を行っている人が、空き店舗を利用して多角経営を行う場合も起業補助金の対象になるのか。
広島部長	多角経営かどうかは別にして、起業補助金の目的は意欲のある方が新規で事業を行うことで、新しい血を入れることに期待するもの。